

みんなちがって、みんないい

このテーマは、童謡詩人金子みすゞさんの「わたしと小鳥と鈴と」の詩の言葉です。

私たちはみんな生まれも財産、地位、名誉などみんなそれぞれちがっています。世間とはかく財産、地位、名誉など、よりあるものを求め高く評価します。それは人間として本当の意味あるものでしょうか。「人生は長さとは幅によってとかく評価しがちですが、深さを忘れたときは心の砂漠を生みだす」とある方の言葉を思い出しました。

先ほど述べた金子みすゞさんの言葉にも相通じます。深さとは心の深さのことで、私たちには深い心はありません。だから仏さまの深い心にふれ、育てられた心の深さが芽生えてくれば、そんなときこそ、わたしとあなた、老いも若きも飛び越えて、みんなそれぞれにちがっていいんだよと認め合える。そんな心を育ててくれるのがお念仏です。

